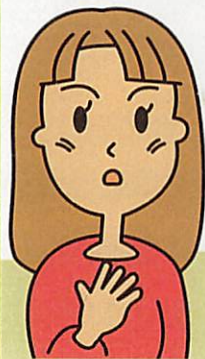


都心でのコミュニティを活性化するために

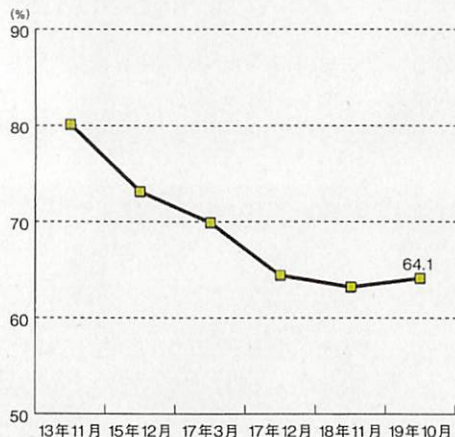


今度隣に越してきた人が、どんな人なのか分からないのよ。私から挨拶にいきうかしら。



何かあった時にはみんなで助け合わないと。お隣さんや近所の人と顔見知りじゃないと困るよね。

■ 町会加入率の推移



町会への加入割合を見ると、平成13年度の約80%から平成19年度には約64%へと減少の傾向にあります。

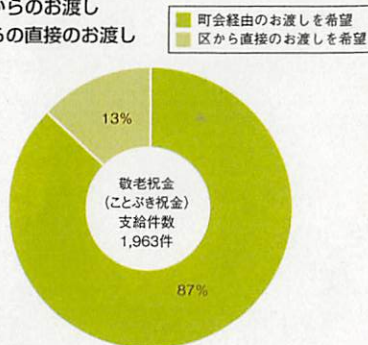
■ 敬老祝金（ことぶき祝金）お渡し方法の希望状況（平成19年度）

節目の年齢の高齢者を対象に実施している敬老祝金（ことぶき祝金）のお渡し方法については、町会経由でのお渡しを希望する方が9割程度を占めています。

高齢者にとって、町会は身近な「頼れる組織」でもあります。

※敬老祝金（ことぶき祝金）のお渡し方法は次のどちらかを選択します。

- ①町会からのお渡し
- ②区からの直接のお渡し

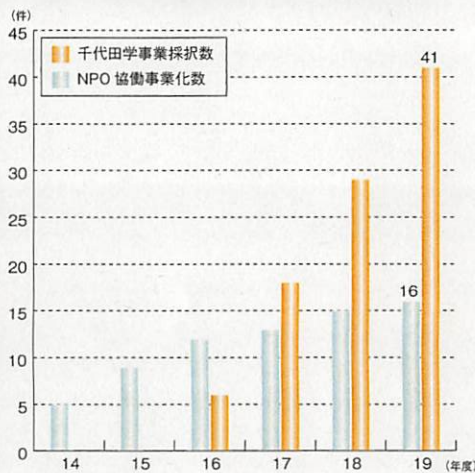


■ 区内大学、NPO等との協働

千代田区内の大学と区は平成15年1月に連携協力に関する基本協定を締結し、様々な分野で連携事業を実施しています。平成19年度までに、大学からの提案に基づき41提案を事業採択しました。

また、平成14年度に「NPO・ボランティアとの協働に関する政策提案制度」を導入し、19年度までに16事業を事業化しました。

■ 千代田学事業提案制度採択数及びNPOとの協働事業の事業化数（累計）



■ 江戸天下祭

町会や企業、学校、他都市、千代田区との連携・協力により、日比谷公園・丸の内地域を舞台にした祭です。

千代田区の伝統を伝える山車・神輿の順行がメイン。千代田区が誇る江戸、東京の歴史的・文化的な資産を「千代田区ブランド」として全国へ発信するとともに、他都市との連携を図っていきます。



▲江戸天下祭(宵宮)の様子

■ 町名由来板

江戸開府400年(平成15年)を機会に、歴史的意義のある町名とそれまつわる文化を保存・継承していくため、地域と連携し区内各所に設置しました。



▲町名由来板(西神田町会)

■ まちの記憶保存プレート

地域からの推薦により、歴史的な事象や人物をテーマにしたデザインプレートを設置。千代田区の歴史と文化を紹介しています。

まちの記憶保存プレート▶
(黒田清輝ここに住む)



今後の課題と解決の方向性

都市化の進展によるマンション住民の増加や高齢化の進行により、円滑な町会活動に支障をきたす状況が顕著となっています。一方、子どもの安全の確保や、高齢者の見守りには地域をあげて取り組む必要があり、町会等の地域組織に対する期待が高まっています。

そのため、従来からの地域組織である町会と、大学、企業、NPOなどの多様な主体との連携・協力による地域活動の推進や江戸天下祭の実施により、まちへの愛着や誇りを育み、地域共生社会の実現をめざします。